

# 島根県観光行動実態調査を利用した観光スポットの魅力の要因分析\*

島根県松江土木建築事務所 正会員 木佐幸佳 \*\*  
 島根県土木部道路建設課 正会員 公田陽一 \*\*\*  
 森山地域計画研究所 正会員 森山昌幸 \*\*\*\*

## 1. はじめに

本県では、県内の豊かな自然環境や温泉、出雲大社をはじめとする史跡等の歴史的・文化的資源を有効に活用し、相互の連携や回廊化を促進することによって、県内各地域がより個性的で魅力あふれる空間となるよう「全県フィールドミュージアム構想」に取り組んでいる。平成 11 年度には、観光関連基盤整備の基礎データ収集を目的として、家庭訪問調査、観光地入込み調査、障害者調査からなる「観光行動実態調査」を実施した。

本稿では、観光地入込み調査結果を用いて、観光スポットの魅力に影響を及ぼす要因の分析を行い、道路等の観光関連基盤整備の課題を明らかにすることを目的とする。

## 2. 調査結果の概要

観光地入込み調査の結果概要を以下に示す。

表 1 観光地入込み客調査

調査対象者	県内観光地への来訪者
調査場所	県内主要観光施設 (125 箇所)
調査方法	調査員による配布、 帰宅後記入・郵送回収
調査時期	H11. 10 ~ 11 月
配布数	33,081
回収数 (回収率)	3,075 (9.3%)

県内観光スポットの交通条件の評価を単純集計結果から考察する。アクセス道路の快適性・案内標識の設置に関しては、約 6 割が高い評価を示している。これに対して、観光地内の幅広歩道の設置や段差のないバリアフリー化への高い評価は約 4 割であり、歩行者空間の充実が今後も必要である。他の観光地への行きやすさといった連携性についても、高い評価は約 4 割であり、県内観光地間を連絡する周遊道路の整備の必要性が確認できる。

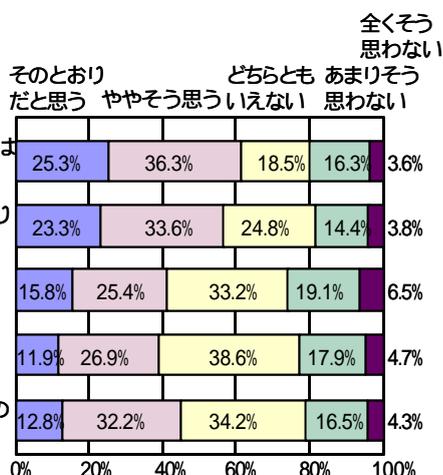


図 1 県内観光スポットの道路条件の評価

## 4. 個別観光スポットの評価

ここでは、全国的にも有名であり県内においては交通条件にも優れた出雲大社と交通条件には劣るものの自然・温泉・スポーツ等様々な魅力を有する三瓶山の評価を比較して特性の違いを考察する。

観光資源では、両スポットともに総合評価は高くなっている。出雲大社では、「見る」の評価が高く「体験」や「スポーツ」では低い評価となっている。これに対して、三瓶山では、「保養」の評価が特に高いものの、それ以外の評価も全て高くなっており、出雲大社が「見る」に特化したスポットであり三瓶山は総合的に魅力が高いスポットであるといえる。

表 2 各スポットの観光資源の評価 (平均値)

スポット名	出雲大社	三瓶山
総合評価	7.58	7.24
見るの評価	7.59	6.47
保養の評価	6.94	7.49
体験の評価	5.27	6.46
スポーツの評価	3.74	6.60

道路についての評価を見ると、アクセス道路の快適性では周辺の幹線道路の整備が進んでいる出雲大社では高い評価を得ており、山岳道路が続く三瓶山では若干低い評価となっている。案内標識では、国道沿いに多くの標識がある出雲大社に比べて、山間

\* キーワード: 観光スポットの魅力, 観光地入込み調査, 要因分析

\*\* 〒690-0001 島根県松江市東津田町 1741-1 TEL 0852-32-5719 FAX 0853-32-5763

\*\*\* 〒690-8501 島根県松江市殿町 8 番地 TEL 0852-22-6259 FAX 0852-22-5190

\*\*\*\* 〒693-0004 島根県出雲市渡橋町 327-1 TEL 0853-22-9690 FAX 0853-22-9715

部に存する三瓶山の評価は低くなっている。歩道の設置やバリアフリーでは、参道が整備されている出雲大社の評価が高く、自然の資源が多い三瓶山の評価は低い。また他の観光地との連携性では、交通条件に優れ周辺に魅力が高い観光スポットを多く持つ出雲大社の評価が高く、他の観光地と接続する道路整備が遅れている三瓶山の評価は低くなっている。

表3 道路についての評価(平均値)

スポット名	出雲大社	三瓶山
アクセス道路の快適性	6.82	6.12
案内標識の設置	6.54	5.90
歩道の設置	6.18	5.19
歩道の段差	6.03	5.55
他観光地との連携性	6.07	5.32

### 5. 観光スポットの魅力に及ぼす要因分析

アンケートでは、各観光スポットが持つ多様な観光資源や飲食・土産・交通条件などの評価とともに、当該観光スポットの総合的な魅力を調査した。ここでは、数量化 Ⅱ類を用いて観光客のスポット評価に影響を与える要因分析を行う。

分析結果を表4に示す。

表4 観光スポットの魅力の要因分析

アイテム	カテゴリー	レンジ	偏相関係数	スコア
住所	島根県内	0.533	0.090	-0.140
	中国地方			-0.035
	九州			0.320
	中部以東			0.230
有名観光地	出雲大社	0.615	0.077	0.085
	三瓶山			0.251
	玉造温泉			0.179
	松江城			-0.046
	その他			-0.042
魅力(みる)		1.283	0.328	
魅力(保養)		0.329	0.104	
魅力(体験)		0.453	0.114	
魅力(スポーツ)		0.220	0.064	
道路の快適性		0.240	0.057	
案内標識		0.184	0.042	
広い歩道あり		0.037	0.008	
道路の段差		0.093	0.022	
観光地連携性		0.786	0.187	
外的基準	魅力的である			0.375
スポットの魅力	どちらともいえない			-0.596
	魅力的でない			-1.430
相関比	0.349	サンプル数	3,053	

\*魅力以下のカテゴリーとスコアは、紙面の都合により省略している。

最も観光地の魅力に寄与しているアイテムは、「みる」の観光資源評価であり、豊かな自然景観や名所旧跡が数多く存する本県においては、これら資源が多いスポットの魅力が高いことが確認できる。また「体験」「保養」といった観光資源評価についても偏相関係数が高く、観光スポットの魅力では各観光資源の魅力が大きく寄与することがわかる。

住所では、島根県内及び中国地方が負のスコアとなり、遠来の観光客の方がより魅力を感じている。

道路条件では、観光資源の魅力に次いで、他の観光地との連携性が大きく寄与しており、単体の観光スポットの魅力増大だけでなく、観光地間を連携する道路整備を推進することによって周遊条件を改善して観光圏域全体の魅力を高めることが必要となる。また、アクセス道路の快適性及び案内標識の設置に関してもレンジが高く、観光地へのアクセス道路の整備を推進するとともに、案内標識や道の駅等での情報提示が重要となる。

### 6. 観光基盤としての道路整備に関する考察

前述の分析から、島根県における観光基盤としての道路整備に必要な観点を列記する。

- ・ アクセス道路だけでなく、観光地間を連絡する周遊道路の整備を推進することによって、観光圏域全体の魅力を高めることが必要である。
- ・ 山間部での観光案内表示の充実が必要である。
- ・ 観光地の歩行者空間を充実させるために、広幅員の歩道の設置やバリアフリー化が必要である。

### 7. おわりに

本稿では、島根県観光行動実態調査の入込み調査から個別観光スポットの魅力に寄与する要因と道路条件の影響を明らかにすることができた。今後は、道路整備が観光周遊行動の魅力や満足度に及ぼす影響について検討していきたいと考えている。

最後に本調査を行うにあたり、貴重なご助言をいただいた広島大学大学院国際協力研究科藤原章正助教授に感謝の意を表します。

### 参考文献

- 1) 公田陽一, 木佐幸佳, 森山昌幸: 島根県観光行動実態調査について, 第52回 土木学会中国支部研究発表会発表概要集, 2000, (印刷中)